

令和6年度守口市立図書館運営状況についての評価及び今後の運営について

目 標		指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
1 図書館サービスの充実	① 蔵書数の拡充と資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数 ・「守口市立図書館資料収集方針」に沿った図書の収集 ・子どもの読書意欲、知的探求心に応える資料の充実 ・高齢者及び障がい者に配慮した図書の充実 ・市民ニーズの高い教養・趣味等の資料の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数（図書のみ） （R2：187,680冊、R3：195,876冊、R4：206,094、R5：215,798、R6：225,752） ・参考書を含め、蔵書の活性化を意識し、主題を中心に幅広いジャンルを収集。 ・学校連携を意識し、学校司書の意見を取り入れた貸出バックを追加。 ・大活字本やLLブック等を継続して購入。 ・新書の充実を図り、話題の資料から市民のニーズも意識した小説や実用書、また、絵本作家イベントに関連する新説作家の絵本等も購入し、幅広いジャンルが充実するよう収集。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度末時点での蔵書数は、守口市立図書館運営方針で定めた蔵書数の拡充計画を大きく上回っており、目標を達成している。引き続き施設のキャパシティの範囲内で更なる蔵書数の拡充を行いながら、市民ニーズに基づいた蔵書の充実に努められたい。 ・来館者数や貸出冊数・件数が継続して増加しており、子どもや高齢者だけではなく、幅広い年齢層に対応した取組を実施することができている点が評価できる。 ・電子図書館の利用者を増やすため、電子書籍の蔵書数の拡充に努められたい。 ・図書館の本をコミュニティセンターで貸出しすることができるルールなどを知らない人がたくさんいており、図書館自体の認知度がまだまだ低いと感じる。広報誌での特集や利用者の声の掲載など、引き続き周知活動に取り組みられたい。
	② 資料・情報提供機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的なレファレンスサービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス記録9件（簡易なものを除く） ・大阪府立図書館司書による選書に関する研修をスタッフ全体が受講。 ・個別にレファレンスに関する自社研修の受講者5名。 	
	③ 図書館の効果的活用	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数 ・生涯学習施設の利用者数 ・貸出冊数 ・貸出件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数（R2：171,174人、R3：256,696人、R4：307,980、R5：319,808、R6：344,101） ・生涯学習施設の利用者数（R2：7,383人、R3：88,248人、R4：33,924、R5：20,661、R6：24,432） ・貸出冊数（R2：210,608冊、R3：281,083冊、R4：344,522冊、R5：353,276冊、R6：366,570） ・貸出件数（R2：54,347件、R3：65,771件、R4：82,066件、R5：84,892件、R6：88,595） 	
2 学びと課題解決を支援する図書館	④ 課題解決支援機能の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技術の習得に向けた各種講座等の開催 ・子育て、医療・健康づくり等の身近な分野のレファレンスサービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技術習得に関連した講座の開催】 ・初心者のおはなし会講座 ・防犯講座「特殊詐欺の被害に遭わないために」 ・こんなときどうする!?家族で台風準備しよう!「マイタイムライン」 ・金融講座「資産運用を考えてみよう」 ・防災士と図書館で学ぼう! ・初心者向けのコーヒーセミナー ・図書館員とめぐる図書館見学ツアー ・セカンドアカデミー <ul style="list-style-type: none"> ～人生100年時代の資産運用（初めてのNISA）～ ～スマートフォン体験講座 基本編②～ ～手話体験講座“手話で笑顔にVol.2”～ ～文学入門講座Vol.2～ ・パラレルキャリア講座 ・演劇×ミュージック「コンサート中に地震が起きたらあなたは？」 <ul style="list-style-type: none"> 【子育て、健康づくりに関連した講座の開催】 ・にこにこタイムあかちゃんとおはなし会 ・第3回育みファミリーコンサート、手づくり楽器作り”カスターネットdeカチカチ♪” ・0歳からの音楽あそび♪ ・親子deダンス講座 ・バレエストレッチ講座 ・青空ヨガストレッチ ・Web動画配信『こどもお絵描き動画』 ・セカンドアカデミー <ul style="list-style-type: none"> ～親子片付け講座”生きる力を育むお手伝い共有” 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルや文楽講座など、入門的なものだけではなく、専門性の高い図書館活動を実施することで、利用者の支援につながっている点が評価できる。今後も利用者の学びにつながる様々な講座の実施を検討されたい。 ・近隣の図書館と比較して開館時間（9時～21時）が長いこと、利用者にとって使い勝手が良い、満足しやすい運営となっている。 ・子ども・子育ての観点から、ペアレント・トレーニングの講座の実施などを検討されたい。 ・図書館は図書施設としての観点だけではなく、生涯学習の場であるということを感じ取れる広報誌になっている点が評価できる。 ・ICT関連の情報は更新頻度が早いこと、定期的に蔵書を更新するなど、ICT関連の蔵書の充実に努められたい。 ・電子書籍は図書館から離れたものではなく、今後は紙の図書と同じ位置づけになっていくことが想定されることから、電子書籍と紙の図書の違いがわかるワークショップや電子書籍の読ませ方講座の開催など電子書籍の理解が深まる取組を検討されたい。 ・施設の入口に案内板を設置するなど、図書館内で実施されている活動のPRにつながる取組を検討されたい。
	⑤ 市民の学習活動を支援する機能の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室、自習スペースの運用 ・生涯学習施設の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きマナー向上を促すため、荷物を置いて長時間退席している利用者には、荷物回収のうえ他の利用者への配慮を口頭注意等を行った。 ・空いている貸室を活用し、ゆったりとした空間で学習していただける有料の自習室を運用 <ul style="list-style-type: none"> 【絵本作家を招聘した作品展や関連イベントの継続実施】 ・新鋭絵本作家展Vol.3 的場カヨ・いのぐちまお ・絵本パネル展「マップス 新・世界図絵」 【生涯学習施設を活用した事業の実施】 ・こども陶芸ラボ「もり吉の貯金箱をつくろう」 ・陶芸ラボ「千支の置物 巳（み）を作ろう」 ・MORIGUCHI DANCE RECITAL 	
	⑥ 多様な学習機会と活動の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・講座やイベント等の開催回数 ・講座やイベント等の参加人数 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座やイベント等の開催日数 （R2：335日、R3：543日、R4：1,076日、R5：1,338日、R6：1,094日） ・講座やイベント等の参加人数 （R2：3,953人、R3：10,577人、R4：16,174人、R5：19,122人、R6：15,049人） 	
	⑦ 歴史を学び、歴史や文化に触れることができる場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の充実 ・歴史や文化に触れることのできる講座の開催 ・郷土資料展示室の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域紙「大阪日日新聞」への定期的な情報提供をすると共に、「大阪日日新聞」「河内新聞」「AGORA」を収集し郷土資料室に配架。 <ul style="list-style-type: none"> 【守口を題材にした朗読劇の上演や歴史講座の開催】 ・万博とは？歴史を知って楽しさ倍増！ 	

目 標		指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
3 子どもの読書活動を推進する図書館	⑧ 読書のきっかけづくりの充実	・子ども達に対するオリエンテーション、出前授業等の開催回数及び内容 ・おはなし会の開催回数 ・「こども読書の日」、「読書週間」等読書啓発に関するイベント等の開催回数及び内容	[小学生等図書館見学の受入れ回数] (R2:3回、R3:6回、R4:8回、R5:11回、R6:8回) [おはなし会の開催回数] (R2:12回、R3:27回、R4:61回、R5:71回、R6:74回) [読書啓発に関するイベント等の開催回数] (R2:1回) ・読書週間特別企画～もりちゃん&ぐっちゃんとおこちゃんの宝探しラリー～ (R3:4回) ・子ども読書活動推進事業 守口市立図書館一周年記念事業 気骨の作家 田島征彦が染め上げる!-絵本原画と型染の世界-展 ・岡田よしとか新作絵本原画展&Painting exhibition of roots ・読書週間イベント 1行図書館 ・読書週間イベント わたしの「推し」本 (R4:4回) ・子ども読書活動推進事業 New Year特別企画 守口市立図書館×tupera tupera絵本ライブ ・読書週間特別企画 ハッピークリエイターたかいよしかず絵本作品展～夢をかなえるチカラ～ ・「こどもの読書週間イベント よんでピンゴ」 ・「目次の1行」図書館 (R5:3回) ・子ども読書活動推進事業 長谷川義史 絵本ライブ ・セカンドアカデミー～文学入門講座～(読書週間イベント) ・知的書評合戦☆ビブリオバトル (R6:5回) ・子どもの読書週間スペシャルおはなし会(「春のおんがくおはなし会」「おおぞらおはなし会」) ・読書週間イベント「ちいさな図書館 第2弾」 ・子ども読書活動推進事業 桂文我・いのぐちまお 絵本ライブ&おやこ寄席 ・セカンドアカデミー～文学入門講座Vol.2～(読書週間イベント) ・知的書評合戦☆ビブリオバトル	・学校の図書館見学や職場体験については、子どもたちが図書館や読書に関心を持つきっかけとなり、将来の職業としての意識づけにもつながることから、学校との連携を強化し、引き続き広く受入れを実施されたい。 ・小中学校においてタブレット端末を使用しての電子図書館の活用に向けた取組を実施されたい。 ・学校司書講習会が未実施になっている。学校とのコミュニケーションはとることができていることから、講習会や出前事業の実施に向けて、引き続き学校連携を推進されたい。 ・頻度の高いおはなし会の実施や児童書コーナーの充実を図ることができているので、引き続き工夫しながら、図書館に足を運びたい企画立案や環境整備に取り組まれたい。 ・ビブリオバトルも定例化してきており、中学生に対して本の魅力を伝える取組を実施できている点が評価できる。引き続き、中学生に対しての取組の充実にも努められたい。
	⑨ 読書環境の充実	・学校図書館との連携 ・図書館司書と司書教諭や学校司書等との連携 ・中・高生に対して、本の魅力を伝え合えるイベントの開催回数及び内容	・学校司書講習会 (R2:1回、R3:0回、R4:0回、R5:0回、R6:0回) ・学校図書館教育主催者会議への参加。団体貸出、貸出バック、図書館見学受入、出前授業について案内。また、学校司書と意見交流をし、貸出バック内容等に反映。 ・大学生の実習受入 ・中高生に向けたYA書架の充実と定期的な展示の実施。 ・中高生向け「守口在住の作家卯月みか先生とお話ししよう」を実施。	
4 効果的・効率的な運営体制の図書館	⑩ 効果的・効率的な図書館運営	・事業計画、事業報告 ・収支計画、収支報告 ・業務マニュアルの整備・見直し ・財源確保や経費節減につながる取組		・今後の更なる発展に向けて、図書館へ来館しにくい方へアプローチしていくなど、アウトリーチに関する取組を期待している。
	⑪ 点検評価の徹底及び公表	・利用者アンケートの実施と公開	・利用者アンケートの実施回数 (R2:4回、R3:4回、R4:4回、R5:7回、R6:4回) ※3周年イベント内で3回実施	・アンケートについて、二次元コードを活用するなど、利用者が気軽に回答できる環境を整えることで、回収数の増加につなげられたい。
	⑫ 図書館職員の人材育成	・職員の組織内研修の実施回数及び内容 ・職員の派遣研修の件数及び内容	・職員の組織内研修の実施回数 (R2:44回、R3:51回、R4:53回、R5:58回、R6:52回) 内容:選書、レファレンス、障がい者サービス、児童サービス、人権、コンプライアンス、危険予測、情報セキュリティ、手話研修等 ・職員の派遣研修の件数 (R2:2回、R3:4回、R4:9回、R5:5回、R6:11回) 主な内容:障がい者サービス、児童サービス等	・アンケートでの意見について、すぐに対応できるものは対応し、意見を参考にしながら満足度の向上につながる取組を実施されたい。 ・アンケートの結果及び対応状況等については、定期的に図書館内及びホームページにおいて公表されたい。 ・今後、アンケートの回収数が増加した際は、回答の集計や分析、対応方法の検討などにA1の活用を検討されたい。
⑬ ボランティアの育成及び活動の支援	・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 ・ボランティアとの協働事業数及び内容	・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 (R2:0回、R3:0回、R4:2回、R5:4回、R6:1回) ・ボランティアとの協働事業数 (R2:0回、R3:0回、R4:3回、R5:4回、R6:4回) 主な内容:としよかんまつり、大人向けおはなし会等の実施。	・収支が大きく赤字となっていることから、クラウドファンディングや寄附の活用について検討されたい。	
その他	⑭ その他			・施設のバリアフリー化の状況をもう一度確認し、誰もが利用しやすい環境を整えられたい。